

# 日本精鉱

## 金属硫化物 製造 建屋が完成

### 今春稼働へ設備導入

日本精鉱は、硫化錫などの金属硫化物製造事業に参入する。中瀬製錬所（兵庫県養父市）に「SULMICS（サルミクス）製造工場」を建設している。既に新建屋が完成し、春までに製造設備を順次導入する。試験運転と同時に製品開発を進め、同年秋の販売開始を目指す。総投資額は約3億2000万円。

### 硫化錫、年内発売目指す

新工場では、各種の金属硫化物を製造できる。サルミクスの名称「びそれらの混合物」を「硫化系化合物およびアンチモン製品以外の

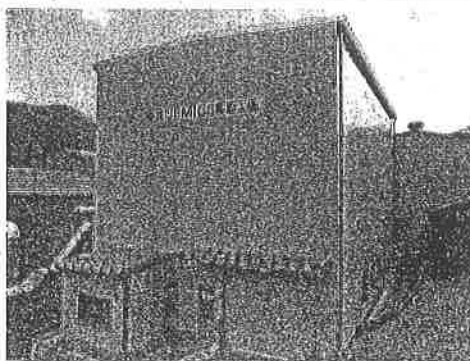
カンケミカル法による硫化錫の製造法を確立し、金属硫化物製品の第一弾として年内に製造・販売を開始する。

製造を事業化するのには同社にとって初めて。硫化錫は、主に自動車などのブレーキパッドに配合される固体潤滑剤として使用される。日本精鉱は現在、同用途で主流である三硫化アンチモンを生産・販売している。しかし、近年は北米市場な

どで新たな固体潤滑剤として硫化錫が注目されていることから、新たに生産を行うことを

決めた。現在、硫化錫は国内では商業生産されていない。

サルミクス製造工場の建屋



設備の稼働と同時に、標準グレードや需要家のニーズに合わせ各種グレードの製品開発に取り組み。第一期計画の生産能力は年間約60tとし、最終的に年間180tまで引き上げる。また、新工場では今後、金属硫化物製造のマルチプラントとして新たな金属硫化物の製品群を開発していく。現在、子会社の日本アトマイズ加工（本社 千葉県野田市、木嶋正憲社長）が手掛ける金属粉末事業でも約2億円を投じ、鉄系金属粉末の生産能力増強を進めている。主流のアンチモン製品事業と合わせ、製品ラインアップと収益力の強化を図る。